

## 始良市蒲生複合新庁舎建設基本設計図書（概要版）に対する意見募集の実施結果と市の考え方

始良市パブリックコメント実施要綱に基づき、蒲生複合新庁舎の基本設計案を公表し、広く市民の皆様の意見を伺うパブリックコメントを実施しました。

いただいたご意見とその意見に対する市の考え方をとりまとめましたので、次のとおり公表します。

なお、いただいたご意見等は、趣旨を損なわない程度に要約させていただいております。また、類似のご意見につきましては、まとめております。

### 1. 集計結果等

#### (1) 実施期間

令和3年10月15日（金）から令和3年11月14日（日）まで

#### (2) 意見の提出方法、提出人数及び意見の件数

提出方法	提出人数（人）	意見件数（件）
持参	43	45
郵送	2	3
ファクス	2	2
電子メール		
インターネット入力フォーム	2	2
合計	49	52

※次頁「2. ご意見の概要と市の考え方」では、提出方法が異なる類似のご意見をまとめ、10件としております。

## 2. ご意見の概要と市の考え方

No.	頁	意見の主な内容	市の考え方 (回答及び対応)
1	2ページ 2. 配置計画 ②中央玄関	<p>始良市蒲生麓は蒲生城・麓集落・御仮屋門・蒲生八幡神社・蒲生クス等により構成される、日本遺産(薩摩の武士が生きた町)に指定され、近年蒲生八幡神社・武家屋敷通り等に観光客が増加しています。始良市蒲生複合新庁舎の新築に併せ、記念として蒲生のシンボルである蒲生城のジオラマを作成し中央玄関横エントランスホールに展示してはどうでしょうか。観光客に対して蒲生紹介の一助に資すると共に、市民の郷土史への造詣を深め、歴史遺産との対話を図ることを目的とするものです。</p>	<p>蒲生観光交流センターとあわせて、様々な用途・目的で蒲生の魅力を発信していきたいと考えております。</p> <p>貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>
2	2ページ 2. 配置計画	<p>歴史ある蒲生を最大限活かし、温故知新の思想を取り入れた魅力あるデザインだと思いますが、プロポーザル時点の計画にあった「どくしょのニワ」「れきしのニワ」「むかえのニワ」は廃止でしょうか。子供や若い世代でも気軽に立ち寄れるような雰囲気を作って頂きたいと思います。「どくしょのニワ」「れきしのニワ」「むかえのニワ」はネーミングと共に大人でもわくわくする素敵な構想だと思います。ぜひ採用して頂き、ケヤキの木やクスの木で大きな影を造り、木製のベンチを置いて心身共に安らぐことのできる素敵な空間を演出して欲しいと思います。由緒正しき蒲生をアピールするには「れきしのニワ」は必要ですし、八幡神社への参拝者には「むかえのニワ」が適していると思います。</p>	<p>ご意見のとおり、3つの庭(ニワ)を設け、またベンチなどを配置することで、歩道と一体的に整備された路地空間によるコミュニケーションの誘発を想定しています。</p> <p>まち並みと施設が一体となった市民に親しまれる新庁舎を目指します。</p>
3	2ページ 2. 配置計画 ③⑦	<p>消防車庫の配置はどこを予定しているのでしょうか。</p>	<p>消防車庫につきましては、複合新庁舎敷地周辺の市有地を候補地として考えております。詳細につきましては今後検討してまいります。</p>

		<p>駐車場出入り口が現計画は県道側に1カ所ですが、県道は交通量も多く、1箇所に集中すれば事故の可能性が高くなると思います。緊急時も考慮し、北側の市道からも出入り口を設け、どちらからでも出入りできるようにすべきではないでしょうか。</p>	<p>出入口につきましては、歩行者や施設利用者の安全性を優先的に検討した結果、県道への出入口幅を広くとり、駐車場内の車路幅を9mとすることで安全かつ利用しやすい計画としています。</p>
4	蒲生庁舎 2~3ページ	<p>蒲生新庁舎は平屋ではなく2階建てにして、多目的ホールや倉庫などを増やしたほうが良いと思いました。</p> <p>①蒲生ふれあいセンターや蒲生公民館がなくなった場合、これまでの利用者が新庁舎でも同じように利用するためには多目的ホール1室だけでは明らかに物足りないと感じます。</p> <p>②蒲生庁舎の場所は川からそう離れているわけでもなく浸水の可能性があるので2階に多目的ホールを配置して市民の安全を確保することが重要ではないでしょうか。</p> <p>③2階建てにすることで蒲生公民館の解体後、公民館の資材・道具等を収納管理する倉庫もつくることができます。</p>	<p>①新庁舎の多目的ホールや会議室はそれぞれ間仕切りを開閉することで部屋数の増減、スペースの拡張が可能となりますので、目的に合わせた活用ができるものと考えております。様々な用途に柔軟に対応できるよう工夫してまいります。</p> <p>②多目的ホールは蒲生ふれあいセンターの集会室と同等の利用環境を維持するため、既存施設と同様に1階に配置しております。庁舎の位置は過去半世紀以上にわたり浸水の経験はありませんが、異常気象による浸水の可能性は今後も否定できないことから、ライフラインに直結する非常用電源などは屋上へ配置することとしております。</p> <p>③複合する施設の資材・道具等は新庁舎内に配置する倉庫及び敷地内外の倉庫に収納する予定としております。</p>
5	3ページ 3. 平面計画 ①②	<p>多目的ホールは和室でしょうかそれとも他のものでしょうか。将来的なことも踏まえて多目的ホールをあと1つ増やしたほうが良いと思います。</p>	<p>多目的ホールは、靴を脱いで利用することを想定しております。床仕上げについては畳も含め他の材料と維持管理費用等を比較し、採用の可否を今後決定してまいります。</p> <p>多目的ホールにつきましては、維持管理費コスト等も鑑み、現在の計画のとおり一つとしました。会</p>

			議室1～3を一体的に利用することで多目的ホールに次ぐ大きさの諸室として利用できます。
6	3ページ 3. 平面計 画 ③	調理室は調理台の数を増やして欲しいです。災害時の炊き出しの際、十分な量を作ることが難しいと思います。蒲生公民館の調理室のような施設について考慮してほしいです。	調理台の数につきましては、蒲生公民館の調理室など始良市内の調理室がある既存施設を参考に、現在の数としております。
7	3ページ 多目的室 ③	新庁舎の調理室は災害時の炊き出しなどの利用目的以外にどのような用途があるのでしょうか。 食えることはすべての世代にとって、健康や未来を考えると一番大切なことです。 安全で手作りのものを仲間と楽しみながらつくり、次世代へ継承でき、大切なコミュニティの場でもある蒲生ふれあいセンターのような施設をつくってください。	蒲生複合新庁舎の調理室は、隣接する多目的ホールとの一体的な利用による地域行事・住民間の親睦や料理教室など、食を通じた様々な交流活動の場となることを期待しております。また、ご意見のとおり災害時は炊き出し用として活用することも想定しております。
8	3ページ 3. 平面計 画 ⑨	エントランスホールは蒲生らしさを表現し、蒲生杉を使用した内装を希望します。蒲生杉は芯まで美しい色をしており、先人達が大切に守ってきた山の財産です。	ご意見のとおり、地産材を活用し、蒲生らしさを表現できる設計を想定しております。
9	3ページ 3. 平面計 画	有料でも構いませんので、鍵などで施錠可能なロッカーがあればと思います。公的な団体備品等の保管を行いたいです。	ロッカーの設置につきましては、検討事項のひとつとして、今後検討してまいります。
10	4ページ 4. 立面計 画	プロポーザル時点の2階建て構想のほうがいくつかの屋根が重なり、蒲生麓の雰囲気にあっていると思います。	外観のイメージは周辺の景観を尊重したデザインを心掛け、実施設計において今後検討してまいります。

以上